



かなえママ

きょーくん

令和7年 8月発行

中濃県事務所 振興防災課 振興防災係  
家庭教育担当: 塚原

〒501-3756 美濃市生櫛1612-2

TEL: 0575-33-4011 (内線210)

## 関市立板取小学校

# 親子炭焼き体験

～素晴らしいふるさと板取をいつまでも好きでいてほしい～

関市立板取小学校は、地域の方々の協力を得て、毎年「まき割り」や「炭焼き」を親子で体験しています。

今回は、7月3日(木)に開催された「親子炭焼き体験」の様子をご紹介します。

### 【開催の目的】

本校は、板取の豊かな自然を生かしながら人々との交流を深め、伝統・文化を大切に学習に取り組んできました。この行事は、人々の山との関わりやふるさとの歴史を親子で体感してもらおうと10年以上前から続いている、美しい自然がある板取ならではの貴重な体験活動です。



### 【当日の様子】



板取グリーンクラブの4名が講師をされ、教室で燃焼と炭化の違いについて説明を受けた後、校舎わきの釜で炭焼きの方法を教わりました。5、6年生4人が汗だく、泥だらけになりながら、まき割りをして釜の中にまきを並べていきました。



釜の入り口にふたをしてさらに土を練り込んで頑丈にした後に、子どもたちが点火しました。ここから24時間ほど経って、ようやく炭がで上がるそうです。6年生の子が「先日、まき割りを一緒にやった洞戸小学校の子たちにも、出来上がった炭をプレゼントしたいです」と、胸を張って答えてくれました。

### 【取材を終えて】

7月12日実施のPTAディキャンプでは、出来上がった炭を使って全校の親子がアマゴを焼いて食べました。3月の学校統廃合を前にして、板取地域ならではの文化がこれからも大切に継承されていくことを願ってやみません。

主催者の「板取の子どもたちが、この素晴らしいふるさとを、いつまでも好きでいてほしいです」という言葉が胸にひびきました。



# 親子給食会・子育てサロン



～わが子の成長を知り、それぞれの良さを見つけよう～

郡上市立口明方小学校 1年生の保護者は、毎年この時期に家庭教育学級を行い、交流を深めています。

今回は、7月4日（金）に開催された「親子給食会」と「子育てサロン」の様子をご紹介します。

## 【開催の目的】

子どもたちが楽しみにしている給食の時間に、配膳から片付けまでを一緒に行うことで、普段の給食の様子を知りたいと思い実施しました。

子育てサロンは、家庭教育支援チームの方にアドバイザーをお願いし、保護者同士が交流を深めることを目的に開催しました。



## 【当日の様子】



親子給食会では、子どもたちは、切り干し大根の煮物、カボチャの味噌汁、鯖の唐揚げなどを、美味しそうにもりもりと食べていました。保護者からは、「家よりよく食べています。雰囲気でしょうか」「家で切り干し大根の煮物は作ったことがなかったのですが、これからはメニューに加えます」などの感想が寄せられました。



子育てサロンでは、「お子さんとの思い出」をテーマに、ぬいぐるみやTシャツ、幼い頃の写真など持参した物を見せ合いながら、終始なごやかな雰囲気での交流が行われました。

## 【参加者の感想】

- 子どもたちの配膳がスムーズでびっくりしました。普段子どもたちが食べている給食の味や様子がわかり、一緒に楽しく過ごすことができました。クラスみんなが良い子で、安心しました。
- 家庭によって育て方は違いますが、みんな同じような悩みをもちながら子育てをしていることがわかって、気持ちが楽になりました。
- 家庭教育支援チームの先生から、「親さんが仲良しだから、子どもたちも仲が良いんですね」と言っていただき、とても嬉しかったです。これからも親同士、子ども同士みんな仲良くしていきたいと思いました。

## 【取材を終えて】

給食中の親子の会話も、子育てサロンの保護者同士の会話も弾み、笑顔でいっぱい家庭教育学級になりました。



郡上市たかす北保育園

# 親子のスキンシップ講演会

～10歳までに身につけたい親子のスキンシップ～

郡上市たかす北保育園は、7月16日(水)に、「親子のスキンシップ講演会」を開催されましたので、ご紹介します。



## 【開催の目的】

性教育は、自分自身はもちろん他人への思いやりの気持ちを育て、命、心、体を大切にする教育です。そのスタートとして、幼児期のうちに身につけたい親子のスキンシップについて、子どもと保護者が一緒に学ぶ講演会を計画しました。

## 【当日の様子】



<講師>

思春期保健相談士

吉山 千帆 氏

「おっぱい・おまた/ちんちん・おしり・くち、この4つは、人に見せたり触らせたりしてはいけない、自分だけの大切な場所ですよ」  
講師のお話を子どもたちは真剣なまなざしで聞いていました。



## 【親子のスキンシップ】

肌のスキンシップと言葉のスキンシップで、わが子に今ここにあなたがいてくれて良いということを、伝えましょう。そして、

「生まれてきてくれてありがとう、大好きだよ」と、毎日毎日、寝る前に伝え続けてあげてください。  
人は、脳から、心から、体から癒やされて、深い絆を築くことができるのです。(講話より)

## 【参加者の感想】

- ・焦らず、肌のふれあいと言葉のスキンシップから、こつこつと性教育を始めていこうと思いました。自分自身も親から好き、愛しているなどと言われた記憶がないので、子どもに伝えるのは恥ずかしいですが、早速今夜から伝えていきたいと思います。
- ・性教育に愛の言葉が必要だと思っていなかったもので、なるほど！と、思いました。寝る前の時間を大切にして、「生まれてきてくれてありがとう。大好きだよ」と、言いたいです。

## 【取材を終えて】

たかす北保育園では、夏休みの在宅活動として「おうちで親子スキンシップ」が実施されます。こうした取組を通して、親子の絆が一層深まっていくことを期待しています。



# 美濃市健康文化交流センター 主催 七夕まつり



## ～親子で季節の伝統行事を楽しもう！

美濃市健康文化交流センターで、6月27日（金）に、乳幼児親子向けの「七夕まつり」が開催されましたのでご紹介します。

### 【開催の目的】

美濃市健康文化交流センターは、乳幼児の子育て中の保護者の皆さんに、気軽に親子の交流ができる機会として、季節にちなんだ様々なイベントを開催しています。

当日の七夕まつりでは、6名の美濃市子育て支援員ボランティアの皆さんに、子どもたちの遊びや、読み聞かせ、託児などにご協力いただきました。



### 【当日の様子】



当日は12組約30名の親子が、ゲームや絵本の読み聞かせ、七夕笹飾り作りなどを楽しみました。美濃市子育て支援員ボランティアの皆さんが託児を引き受け、保護者の方々は安心して楽しむことができました。

「おほしまひらひら落としゲーム」を親子で楽しみました。



行事の始まりと終わりに、絵本の読み聞かせがありました。絵本の内容に沿って、金魚を探すゲームも行われました。

手作りの大きなフォトスポットの前で、家族で「はい、ポーズ！」

### 【取材を終えて】

美濃市健康文化交流センターでは、毎年、年間を通して様々な企画や行事が行われています。多くの皆さんにご参加いただき、交流の輪を広げていただきたいと思います。